

科目名	自然体験					単位	2.0
担当教員	村上 忠明						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	4223

●授業のテーマ

自然体験（野外遊び）の楽しさを知ろう！自然体験活動の実践力を高めよう！

●到達目標

1. 自然体験活動の基礎的知識と技術が習得できる
2. こどもの自然体験活動を指導できるようになる
3. 全国体験活動指導者認定委員会公認「自然体験活動指導者資格」の取得が可能

●学習内容(授業概要)

幼稚園教育要領・保育所保育指針に示されているとおり、幼児教育において自然体験活動は必要不可欠な教育手法となっています。

また、学校教育法ならびに社会教育法においても自然体験活動の促進を規定しており、青少年に対する自然体験活動は日本の教育の重要な領域となっています。

本講は学校および幼稚園の教員、保育士、児童厚生員、児童福祉施設等の教職員をめざす学生に対し、自然体験活動の楽しさを知るとともに、自然体験（野外遊び）の基礎を学び、こどもの「生きる力」を体験の中から引き出すことの大切さ（メリット）や安全対策（リスク）について学んでもらいます。

また、講義のまとめとして、夏休みを利用して小学生を対象とした3泊4日程度の指導実習（自然体験教育キャンプ）を長野県あるいは福井県において実施します。50校を超える大学の学生たちがキャンプリーダーとして参加しますので、全国的なネットワークを広げることができます。

自分自身の経験知を高め、楽しく安全に野外遊びを指導できる力を身につけましょう。

なお、本講は全国体験活動指導者認定委員会が認定する「自然体験活動指導者」の資格を取得することができます（任意）。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 授業の概要とねらい
2. 自然体験の理念
3. 幼児教育と自然体験
4. 青少年教育と自然体験
5. 学校教育における体験活動
6. 自然の理解／「自然観」の事例研究
7. 対象者の理解／①アイスメルティング ②情報の集め方
8. 人と自然・社会・文化の関わり／自然体験と平和の文化
9. 自然体験の基礎技術／道具の知識と使用方法
10. 自然体験の指導法／①「指導」とは何か ②指導者像の考察
11. 安全対策／こどもの救命法①ファーストエイド
12. 安全対策／こどもの救命法②心肺蘇生法
13. 自然体験活動の実践理解
14. プログラムデザイン
15. 授業のまとめ／試験

●準備学習・事後学習の内容

1. 事前学習：授業のテーマごとにキーワードを1つ書き出してくる。
2. 事後学習：毎回の授業で習ったキーワードを3つ書き出しておく。

●成績評価方法・基準

受講態度40%、指導実習40%、レポート20%

●テキスト（必携）

それぞれのトピックスに適した資料等を授業中に配布します。

●参考文献／その他

1. 『センス・オブ・ワンダー』新潮社レイチェル・カーソン著
2. 必要に応じてプリント等を配布

●履修上の注意

1. 受講意欲（出席）を重視します。
2. 毎回プリントを配布します。必ずファイリングして下さい。